

令和4年度 菊池市議会と各種団体 との意見交換会報告書



令和4年度の議会報告会は、常任委員会ごとに所管する関係団体の皆さまとの意見交換会という形式で開催しました。

はじめに、総務常任委員会は菊池市区長協議会の役員の皆さまと「安心安全なまちづくり」をテーマに令和5年1月31日に意見交換会を行いました。



まず、道路に関して、菊池市区長協議会より

- 旭志地区で、大型トラックが住宅街を通っていて、通学路もあるため、横断歩道や色付き舗装の要望を市に行っているが、予算の関係などでできていない。
- 隈府の町なかの舗装が荒れていて、白線や横断歩道も薄くなっているところが多い。ほとんどが隈府小学校と菊池北小学校の通学路に指定されているので、早急に対応してほしい。
- 国道 325 号の改修工事で4車線になっているが、通学路が狭くなっていて子供が不安感を持っている。また、歩道の外の草が中に入ってきて通学路としては不適格な状態になっている。
- 高田区において、道路の白線が消えかかっているため、七城支所に令和3年に要望したのにまだ改善されていないが、そんなに要望してから時間がかかるものなのか。何度も事故があっているので早急な改善を望む。

- その他の市道の補修の件で、県道と市道が重なる路線が南住吉区にあるが、途中で舗装が分断されている。T S M C関係でダンプや大型トレーラーが多くなっている。それに伴い振動が発生している。15 年前からそのような要望が区民から上がっているが、県道と市道なのでどこに相談して良いのかわからない。また、住吉橋の交差点の見通しが悪いので信号設置を要望したい。などの意見が出されました。

それらの意見に対し、委員会より

- ◎『安全安心プログラム』というのがあり、各小学校、中学校でP T Aから要請を受けて予算がつく。その後、警察や、県道・市道などの道路管理者が集まり協議する。道路の白線は担当が警察になるが、それだけでは予算が足りないの
で、市道については、市の土木課である程度は白線を引いている。
- ◎今のシステムとしては、まず地元の区長から土木課や支所に改善要望を申請するシステムになっている。しかし、道路を作るマスタープランはあるが、道路改修のプランが無いのでそのような事態になっている。
- ◎区長の申請主義になっているという話であるが、区長から文書でもらったものは文書で回答するように要望している。区長が納得するような見える化は必要であるし、3 年も 4 年もほったらかしではいけない。その間に区長も交代すれば、職員も異動するため、しっかり引継ぎはすべきと考える。
- ◎できれば校区ごとに重要事項に優先順位をつけて要望していけば確実にできていくと考える。
- ◎この件については、委員会としても問題だと考えるので、執行部に要望などを行うこととしたいと考える。
- ◎住吉橋については、橋が車の視線と同じ高さになるので見えづらいと考える。現在のところ信号機の設置については難しいのではないかと考えるが、調査してみる。
などの回答をしました。

次に、防犯灯に関して、区長協議会より

- 防犯灯のL E D化については、引き続き 2 分の 1 補助の予算の継続をしてほしい。

- 区によっては防犯灯をＬＥＤに変えたくても変えるお金がない。さらに電気代が高騰して区の会計を非常に圧迫しているような状態である。電気料金の補助の質問に対して、ＬＥＤ化の補助金を使ってくださいという答弁は違うのではないと思う。せめて主要な通学路の防犯灯の電気代については、市で負担してもらいたい。高齢化で区費を上げることも難しくなっている。

などの意見に対して、委員会より

◎防犯灯のＬＥＤ化の補助については、前回の議会において市長は継続して行くという答弁であった。

◎国会議員にも先日、電気代の補助についてはお願いしたところである。

◎防犯灯のＬＥＤ化については予算が無いで済ますのではなく、委員会としても協議していく必要がある。

などと回答しました。

また、防災無線に関して、区長協議会より

- 泗水地区の場合、防災無線の個別受信機が電波法の関係や古くて故障して使えないようになるので、個別受信機に代わるものを導入してもらいたい。今あるものが無くなると近所の葬式も分からないという声がある。

との意見に対して、委員会より

◎防災無線の個別受信機の設置については、ようやく約 2,000 台を導入する計画である。内訳は、旧菊池地区が 1,000 台、泗水が 700 台、七城、旭志が 200 台ずつとなっている。ただし、これには条件があって 75 歳以上となっている。

との回答をしました。

他に「安心安全なまちづくり」としては、区長協議会より

- 七城は地下水汚染で迷惑している地域がある。20 万円程する浄水器の補助も 2 分の 1 補助である。家畜糞尿による地下水汚染ということは間違いない。畜産関係や農業関係にどんどん補助金が出ているのに、地下水汚染対策に国からの補助がないのはおかしい。ぜひ、市議会からも国に陳情してもらいたい。

との意見に対し、委員会より

◎地下水汚染対策については、福祉厚生常任委員会の所管になるのでしっかり伝える。

と回答をしました。

次に、自由に意見交換を行いました。

- 各支所には相談員さんが配置されており、相談員の役割はどのようになっているのか。もともと市と区長をつなぐ役割だったと把握しているが、現在の役割はどのような立場なのか。

との区長協議会からの意見に対し、委員会より

- ◎相談員の役割については、市民の皆さんからの意見を聞きながらお手伝いをするというのが、相談員の役割と思う。

との回答をしました。

- 菊池市を明るくするためには、人口減少を止めるためだけではなく、人を集めるための対策を考えてほしい。お金をどうやって稼ぐのか、菊池市に住みたくなる対策を考えてほしい。商店街がシャッター街になっているので、空き地・空き店舗を市が買い上げて貸すことなどを考えてもらいたい。

との区長協議会からの意見に対し、委員会より

- ◎空き店舗の状況は以前調べたが、店の裏が住居となっているので空き店舗を貸される人はほとんどいない。新規事業者は来年度から補助金が出るような施策をしている。あとは対外的にどうアピールしていくかだと考える。

- ◎若い人が流出している原因の一つに高校の学校区問題があると考ええる。菊池市は国の基準と比べて保育料が安い、小学校進学時に合志市や菊陽町に家を建てる人が増えている。

- ◎政策提言については、各議員も一般質問で行っているので傍聴してほしい。などの回答をしました。

他に、

- 泗水地区では合志市のように巡回バスを導入してもらいたいという声があり、田島や住吉の人は買い物が不便ということである。将来的に巡回バスを考えてほしい。

との区長協議会からの意見がありました。

次に、福祉厚生常任委員会では、菊池郡市歯科医師会菊池支部・菊池郡市薬剤師会・菊池学童さくら会・菊池市保育協議会の4団体の方々と令和5年1月18日、1月31日、2月1日の3日間において意見交換を行いました。



はじめに、菊池郡市歯科医師会菊池支部との意見交換会では
まず、歯周疾患検診について

- 昨年複合健診に含まれ実施したが、受診率の低さが課題と考える。費用（個人負担500円～1000円）がかかるのがネックではないか。健診の周知方法の拡充と徹底が必要だと思う。

次に、子どもたちの虫歯保有率状況について

- 大多数の子どもの虫歯は少ないが、一人で何本も虫歯がある子どもも見受けられる。
- 子どもたちの口腔状態と家庭環境は密接なつながりがあると考えられ、そういった子どもの家庭環境はネグレクトの可能性も考えられるのではないかと推測される。

- 学校の健診で虫歯があることがわかり、治療をするように学校から連絡（文書）があるが、対象の児童生徒がきちんと治療に行っているのかまではわからない。（学校での歯科健診から先のサポートがどうなっているか不明である。）

次に、菊池郡市薬剤師会との意見交換会では

- 学校薬剤師として児童生徒は勿論だが、先生との連携をもう少し密にしたい。コロナ禍で中断している市民講座を、今後再開したいと考えている。

- 薬不足については、コロナ禍のためコロナ以外の薬の流通にも影響が出ており、風邪薬が実際に不足し代用品でしのいでいるのが実情である。患者さんとのコミュニケーションを通して代替品の提案などを行っている。ジェネリック医薬品についても、使いたいのだが薬不足でうまくいっていない現状である。今年の正月は発熱外来で薬が不足し、休み返上で対応した。

次に、菊池学童さくら会との意見交換会では

- 今後の運営について、子どもたちの数の増減によりこれから10年程度の運営が難しいと考えている。
- 運営背景が違うので、菊池学童さくら会としての料金統一は難しいと考える。運営においてもこのまま保護者会運営を希望しているクラブもある。
- 子どもたちの遊んでいる姿が活動的であり、子ども同士のコミュニケーションがある。そのコミュニケーションが大切だと考えている。
- 現在待機児童はないが、スタッフの確保に心配な面がある。

最後に、菊池市保育協議会との意見交換会では

- 保育士不足について、国の最低基準では実情無理と考えているが、順次園児が増えていく現状に合わせた保育士の確保が難しい。特に、実習の経験からか新卒の保育士の就職率が低いのが課題と考える。また、特性のある子どもを保育していく上で、どうしても加配していく必要がある部分も人手不足の要因の一つである。
- 小学校区での保育がスムーズだと考えるので、各地域での少子化対策が必要である。
- 保育士は虐待の可能性など家庭内での問題に気づくことがあるが、そこから

先につながっていかないと感じる。そのためにも、家庭支援員（相談員）の活動や人員（現在2名）をもっと拡充してほしい。
などのご意見がありました

次に、経済建設常任委員会では、各種団体との意見交換会について、テーマを「有害鳥獣対策」並びに「半導体関連企業誘致に伴う経済対策」で1月31日に行いました



はじめに、「有害鳥獣対策」について、菊池市有害鳥獣捕獲協議会、菊池地域農業協同組合、熊本県農業共済組合菊池支所、菊池森林組合の皆さまと意見交換会を行いました。

まず、現状について、各団体より

- イノシシの被害が目立ってきているが、シカや鳥の被害も増えてきている。
- 今年度は、イネとクリの幼木の被害が特に酷く、クリは約3～4千万円の被害があった。

- イノシシは、フェンスをしても電気柵を設置していても、下から入ってきている。また、柵などの設置が進み、山から平地に下りてきている個体も増えてきている。
- シカとイノシシは共存しないので、山でシカが増えてきた分、イノシシは平地に下りてきている。
- シカの被害は、山奥で出ている。また、管理が出来ている山ほど被害を受けている。
- 個体数が増え、捕獲数も増えているにも関わらず、市の報奨金が少なかった。
- 補助金が無いとわなを準備する費用も大変である。戦争のせいで鉄砲の弾の値段も高騰し、入手しづらくなった。
などの報告がありました。

次に、課題について、各団体より

- 国は、自給飼料を増やせと言うが、増やしても飼料畑が餌付けの場となっている。
- 有害獣を獲っても、処理施設が無いので、埋めるしかない。ジビエ施設の建設には、国からの補助があるが、単独の自治体で運営していくのは難しく、広域的に複数の自治体で建設・運営することが望ましい。
- 近隣市町との隣接区域では、有害鳥獣が双方から逃げられて保護区のようになっているため、どちらの市町からでも有害鳥獣を獲れるようにしなければならない。
などの意見がありました。

次に、要望として、各団体より

- 関係団体や農家だけでなく、一般の方などに協力してもらい、被害報告を出してもらいたい。
- わなの資格や免許を取る際の費用について、補助金を増額してほしい。
- アプリや電話回線を使ったカメラを設置する、シカにGPSを付けるなどデジタル化を推進するための費用を補助してもらいたい。

- 有害鳥獣が獲れた場合は、市以外の団体からでも何らかのご協力をいただきたい。
- 主に、近隣市町と隣接する地域での事例として、菊池市民であっても土地が他市町の場合、補助が出ない。逆の場合も同じことであるので、属人で判断してほしい。
- 市には、収入保険の掛金への補助をお願いしたい。
などの意見がありました。

現状、及び課題、要望などを踏まえた議員間討議では
◎手入れしている山ほど、シカの被害が大きいことに矛盾を感じ、相当困られているものと感じた。

◎鉄砲の弾一発で 450 円もかかり、報奨金も出ないとなると辛いと感じた。戦争による物価高騰で、鉄砲の弾にも影響が出ている。

◎捕獲して、個体数を減らすことが肝心であり、これに予算措置ができるよう取り組んでいく必要があると強く感じた。

◎ジビエ施設は、近隣自治体と一緒に、まずどこかに一つ作ることがいいと思う。

◎イノシンを埋めていると言われ、処分に関する道筋がないと大変だと思った。

◎西米良村では、うまくいっているようなので、調査・研究する必要があると思う。

◎一自治体ではなかなか難しいので、広域的に、国・県には、意見書等いろんな方法で伝えていく必要がある。
などの意見がありました。

次に、「半導体関連企業誘致に伴う経済対策」について、菊池市商工会、菊池市企業連絡協議会、菊池市建設業協会の皆さまと意見交換会を行いました。

- まず、現状について、各団体より
- 出遅れ感があり、近隣の自治体と比べて乗り遅れていないか心配している。
 - 過疎地である旭志と隣接する泗水に思い切った住宅誘致を行っていただき、

それに伴う道路の整備はもちろん、上下水道工事などのインフラ整備を行うなど大胆に動いてもらいたい。

- 上下水道を整備しないと今の若い人は住まないと思う。
- 竜門ダムから水を取ることは、今、農業でも水が足りていないのに、大丈夫なのか不安がある。
- 雇用問題が一番大きい。工場でも、非常に人手が不足している。などの報告がありました。

次に、課題について、各団体より

- インフラの部分がしっかりと整わないことには、企業誘致、人口増に繋がらない。
- 定期的に菊池市の方針を各関係業界には明らかにすべき。
- 県の工業団地の新設について、酪農家が自給飼料を作る場所を確保するために大変困っており、山の方で作付けできればよいが、山はイノシシが多くて作付けできない。
- 農業は基幹産業であって、飼料栽培は国産をとという動きであり、特に畜産に対する農地の配慮が必要だと考える。などの意見がありました。

次に、要望として、各団体より

- 行政側に窓口をきちんとおいてほしい。行政だけで分かなければ、不動産の専門を入れてほしい。
- 市が先取りの財政投資をしてほしい。私たちは、観光やインバウンドをするためにどうするかといった話をしたいし、せっかくのチャンスなので、これを期に菊池温泉をより活性化させなければならない。
- 住宅関係もいろんなタイプがあるので、どの辺にターゲットを絞るか考える必要がある。
- 農業委員会がある程度、規制を緩和してほしい。

●行政には、地域のためになる整備をしてほしい。

などの意見があり、委員からは

◎農振・農用地区域に関しては、県が音頭を取って広域的に協議しないと、外れない部分もあるので、そういう問題を解決してもらいたい。

◎行政もスピード感を持つ必要があるが、議員自身ももう少しスピード感を持つ必要がある。

◎農業後継者がいないので、土地を売りたい方と、まだ続けたい方とがいるので、農地銀行（バンク）のような形で、売りたい方が農地を出し、農業を続けたい方に優良農地を代替地として渡すなどしたほうが良い。

などの意見がありました。

その後、各団体より

●はっきりしたビジョンが議会に見えない。あるのなら先の見えた話も聞きたい。

との質問があり、委員より

◎委員会ではビジョンを示すところまで辿り着いていない。人口増を目指して、道路や住宅インフラを整備すべきだとは考えている。

との話をしました。

さらに、各団体より

●議会側できちんとした特別委員会を作ってもらい、常に対応し、明らかにしていく役割を果たしてほしい。

との要望があり、委員からは

◎特別委員会が必要であるか協議していく。

との話をしました。

現状、及び課題、要望などを踏まえた議員間討議では

◎住宅開発をしても、上下水道の整備がないと来ないから、グランドデザインをしないといけない。

◎市は、関係団体に情報提供を急いでももらいたい。

◎市の動きが見えない、スローに見えて仕方がないのが現状だと考える。

◎雇用問題がとても心配で不安が残る。どの業界も今、人手・人材不足が叫ばれている中、本当に働き手の確保ができるのかと言われ、対策の必要性を感じた。

◎定期的に、議会と各種団体、行政も一緒に、意見交換会をしたほうがいい。

◎菊陽町には温泉がないので、それを生かす施策が必要。

◎菊陽町や合志市は渋滞がひどいので、旭志・泗水はチャンスだと考える。

◎委員会として、T S M Cや企業誘致を含めた経済対策に関して、ある程度方向性を示しても良かったのではないかな。議会も執行部も一緒になって、例えば人口を増やすんだとの勢いが必要ではないかな。
などの意見がありました。

以上、各委員会では、皆さまから貴重なご意見をいただきました。

このご意見を糧にして各委員会はもとより、各議員が今後の議会・議員活動に繋げてまいります。

このたび、ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

菊池市議会議長 水 上 隆 光

発 行	菊 池 市 議 会
発行日	令和5年3月23日
電 話	0968-25-2325